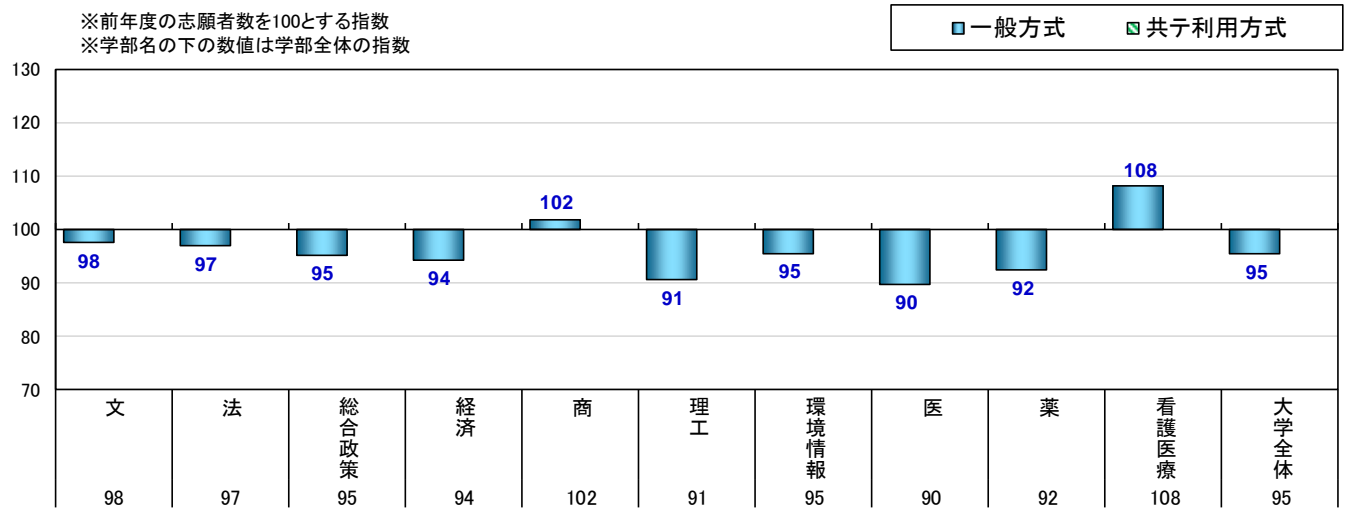


2021 年度入試状況分析【私立大】

慶應義塾大：大学全体では4年連続減少、学部別では商、看護医療のみ増加 一般：-1,773人



入試変更点	<p>出願書類：出願要件として、「主体性」「多様性」「協働性」をどのように考え、心掛けてきたかについて記入を求める ※合否判定には使用しない</p> <p>選抜方法：看護医療…〈2次〉論+面→論(コロナ禍により2021年度は面なし)</p> <p>募集人員：総合政策…〈一般〉275人、〈AO〉100人→〈一般〉225人、〈AO〉150人 環境情報…〈一般〉275人、〈AO〉100人→〈一般〉225人、〈AO〉150人</p>
--------------	--

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、1,773人(95)のやや減少で4年連続減少。コロナ禍による首都圏の大学への敬遠傾向と最難関大を無理に狙わない傾向が影響。学部別では商、看護医療を除く8学部で減少。

<一般方式>

- 文(98)は、微減だが4年連続減少。
- 法(97)は、やや減少で4年連続減少。学科別では、(法律)(106)は前年度の大幅減少の反動もあって、やや増加で4年ぶりに増加、(政治)(88)は減少で前年度4年ぶりに増加したが、再び減少に転じた。
- 総合政策(95)は、やや減少で4年連続減少だが、募集人員が18%減少したことで、志願倍率は12.1倍→14.1倍にアップし、競争は激化。
- 経済(94)は、やや減少で5年連続減少。方式別では、〈A方式〉(89)は減少、一方で〈B方式〉(106)はやや増加と対照的。
- 商(102)は、微増だが4年ぶりに増加。方式別では、〈A方式〉(95)はやや減少で2年連続減少、一方で〈B方式〉(113)は増加で4年ぶりの増加。
- 理工(91)は、減少で7年連続減少。学門別では、全ての学門で減少した。学門A(100)、学門B(98)は微減だったが、学門E(92)、学門C(88)は減少、学門D(79)は20%以上の大幅減少だった。
- 環境情報(95)は、やや減少で2年連続減少だが、募集人員が18%減少したことで、志願倍率は10.9倍→12.7倍にアップし、競争は激化。
- 医(90)は、難関大医学部医学科を敬遠する動きから、2年連続約1割前後の減少が継続し、志願者数は1,250人を下回った。
- 薬(92)は、減少。学科別では、薬剤師過剰への不安から6年制の(薬)(90)は7年連続減少。4年制の(薬科学)(97)は前年度の大幅増加の反動もあってやや減少となった。
- 看護医療(108)は、4年連続減少の反動で増加。